

令和4年度第1回辰野町総合教育会議議事録

【日時】

令和4年5月23日（月）

開会 午前11時00分

閉会 午前12時00分

【会場】

役場 第6会議室

【出席者】

12名

（辰野町関係者）

辰野町長 武居 保男

（辰野町教育委員会）

教育長 宮澤 和徳

教育長代理 根橋 久人

教育委員 垣内 由佳

教育委員 関 政彦

教育委員 萩原 多恵子

（事務局関係）

総務課長 加藤 恒男

こども課長 小澤 靖一

生涯学習課長 福島 永

こども課課長補佐 田中 香織

学校教育係長 翠川 俊一

学校教育係 宮澤 司

1. 開会

【加藤総務課長】

皆さん、こんにちは。

また傍聴の皆さん、傍聴いただきましてありがとうございます。

定刻になりましたので、次第に沿って進めさせていただきます。本日の進行につきましては総務課長の加藤恒男と申しますが、私の方で進めさせていただきます。

また、町長、教育長などご挨拶いただきますが、その他を除きまして、進行の私も含めまして着座のまま、この会議進めてまいりますので、ご了解をいただきたいと思いません。

それでは、これより令和4年度辰野町総合教育会議を始めます。

はじめに武居町長、ご挨拶をお願いいたします。

2. 町長あいさつ

【武居町長】

今年度初回の総合教育会議にご出席いただき誠にありがとうございます。

さて、皆様もご存知の通り、先週末、5月21日に、元辰野町長で現職の県会議員である垣内さんがお亡くなりになりました。つい先日、同じく元辰野町長の小沢惣衛さんもお亡くなりになったばかりで、突然の訃報に、驚きと戸惑いを隠せません。町の発展に大変ご尽力いただきました、偉大な先輩でありました。これからまだまだご指導ご教示いただきたいと思っていた矢先のことでありましたので、痛惜の念でいっぱいです。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、お二人のご冥福を心からお祈りいたします。

それでは本日の会議の前に3点ほどお話しさせていただきます。新聞紙上時折、町内小中学生から寄せられた作文等が掲載され、毎回楽しみに拝見させていただいています。4月5日付の信濃毎日新聞「20年後の私」に辰野西小学校の桑沢唯人さんが掲載されておりました。「辰野町は、日本のど真ん中で、自分は20年後に役場の公務員になっている。『真ん・中夫』の活動を通して町が好きになり、辰野の魅力を全国に広めていくと同時に、蛍とカワニナを守るために自然を大切にしていきたいという思いから、役場に入って環境を大事にしていきたい」という内容で、大変頼もしく感じました。

また、4月23日から25日にかけて、町内3社で伊那御柱が開催されました。コロナ禍で、地元関係者の皆様は対応に苦慮されたことと思いますが、綱打ちや木遣りの練習、青年会の活動、飾りつけなどさまざまな準備を重ねて来られたことや、久しぶりに、顔

を合わせる皆様のお姿に胸が熱くなる感動を覚えたところでもあります。とともに、辰野町が目指している「住み続けたいまち」につながる「郷土愛の醸成された姿」であり、学校教育、生涯学習課の取組の成果の表れと感じましたので、学校現場をはじめとする教育関係者の皆様にあらためて感謝を申し上げたいと思います。

また、川島小学校については、全国的な少子化傾向の加速などを背景に、教育委員の皆様とともに苦渋の選択で、「他校との統合の対象として検討すべき」と表明させていただき、現在、そのための具体的な検討や調整を進めているところであります。

具体的な内容が決定しても統合までに数年かかると伺っておりますが、現在川島小学校または、川島地区から他の小学校に通学中の児童や保護者、今後入学を予定しているご家庭などの不安の解消を第一に進めてまいりたいと思いますので、引き続き、それぞれに寄り添った、丁寧な対応にご協力をお願いいたします。

本日の会議で、教育委員の皆様と、さまざまな教育の課題及び目指す姿などを共有しながら、連携して効果的に教育施策を推進してまいりたいと思いますので、忌憚のないご意見・ご発言をいただくようお願いし、挨拶とさせていただきます。

3. 教育長あいさつ

【宮澤教育長】

皆さんこんにちは。

お忙しい中お集まりいただきましたありがとうございます。

コロナ禍も3年目に突入しました。4月初め、保育園や学校で感染者が続き、厳しいときもありましたけれど、比較的短時間で収束させることができ、今日では大変落ち着いた状況で学校生活、保育園生活を送ることができることを大変嬉しく思っております。中でもこの3年間、集団生活を行っている学校において集団感染（クラスター）ということが発生していないことは、まさに児童生徒や先生方に感謝です。

4月末から5月にかけての御柱・こども御柱も中学校の修学旅行など、コロナの心配もありましたけれど、計画通り執り行うことができ、子供たちも多くを学ぶことができましたと思っております。これからもコロナ禍ではありますが、工夫をしながら、計画した教育課程・活動、行事などが予定通り執り行うことができればと期待しているところでございます。

さて今日は、令和4年度第1回目の総合教育会議です。社会の変化が激しく、想定外の事態も多発する中で、教育を取り巻く環境も大きな影響を受けています。

今日は町の教育施策の状況確認と、川島小学校の今後についてが大きな柱です。中でも川島小学校の今後については、昨年8月の臨時教育委員会において、武居町長から、「存続は断念、他校との統合の対象として検討すべき」との表明を受けて、教育委員会がどんな方向を示すのか、多くの町民が関心を寄せております。

今日は4年前の教育委員会見解をもとに、町長表明を受けた後、教育委員会において検討した内容について説明させていただきます。

この総合教育会議において、町の意見もいただきながら、今後の取り組みを推進してまいりたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

4. 協議及び意見交換

【加藤総務課長】

それでは、協議および意見交換に入ります。

本日の協議事項は4項目でございます。はじめに①町内小中学校の教育環境についてから、保育園関係について、生涯学習関係の事業についての3項目について一括で、説明をいただいた後に意見交換に入りたいと思っておりますので、お願いいたします。

それでは、順次ご説明をお願いいたします。

【小澤こども課長】

それでは協議および意見交換の情報提供をさせていただきます。

まず、(1)環境についてでございますが、令和元年7月の総合教育会議などにおいてお示しいたしました計画の進捗状況と今後の課題について申し上げます。委員の皆様には資料 No. 1、それから傍聴の皆様には見にくく、大変申し訳ありませんが、大型掲示装置に拡大して映してまいりますので参考にさせていただきたいと思っております。

まず①学校施設の整備状況でございますが、1番から3番まで、空調やエアコンの設置、トイレの洋式化、それに合わせた手洗いの自動水洗化、大規模改修長寿命化工事につきましては、町の予算措置をいただきまして予定通り完了しております。4番以降は各学校の共通の課題でございますけれども、4番、給食室につきましては、床、照明設備等の老朽化が進んでおります。また、保健所による指導、施設基準への適合が今後の課題となってまいります。順次計画的に工事を進めてまいります今年度につきましては、辰野西小学校と辰野中学校の改修工事を予定しております。5番の防犯対策につき

ましては各小中学校の防犯カメラを更新してまいります。今年8月頃を予定しております。6番プールでございますが、全学校を共通してプールサイド及び配管の水漏れ等が進んでおります。プールの使用状況、1シーズン1ヶ月各クラス10時間程度のことを考えますと、今後のプールのあり方水泳授業のあり方についても検討が必要になってまいります。7番の照明機器のLED化につきましては、温室効果ガスの排出量等を電気料の削減ということで、ゼロカーボンの推進を進めていかなければならないところでございます。

続きまして、②番のICT教育環境の整備状況でございますが、1人1台タブレット、それからオンライン事業の実現につきましては、令和3年度までに行っております。本年度の主な取り組みでございますけれども、このオンライン事業をより家庭で充実させるため、タブレット用の充電器、それから持ち帰り用のバック等の購入、Wi-Fi環境の伴わない家庭へ、貸し出し用のルーターの整備を予定してございます。

2番のソフト面でございますが、学校へのICT支援につきましては、こども課職員2名を支援主事として配置してまいりましたが、今後も継続してまいります。加えまして、学校内の教職員の皆様にも推進中核職員として、その役割を担っていただくことを考えております。全体での研修を行った後、各学校の推進中核職員の皆さんが学校へ持ち帰り、学校内でのICT活用の指導力を向上させていただきたいというふうに考えております。

続きまして③番の主な教育施策でございますけれども、ソフト面でございますが、1番から4番までにつきましては、これまでも辰野町で町費での支援員を確保しまして、特色のある教育として取り組んできたところでございますけれども、今後もより充実を図って強化してまいりたいと考えております。5番のハイブリッド方式による辰野モデルによる分散登校これは新規事業でございますけれども、各学校に班編成として毎日登校して学びの保障、繋がり保障、体力保障、食の保障、規則正しい生活の保障の五つの保障を確保をしております。6番学校給食費補助事業を新規事業でございますが、これはこの後開催されます6月の議会に補正予算等をお願いして取り組んでまいりたいと考えているものでございますけれども、これまで通りの栄養バランスや量を保った給食を提供するため、食材購入費等を補助し、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化による物価高騰に伴う学校給食費の値上げを抑制していきたいと考えております。7番、部活動のあり方検討につきましては、国の示す中学の部活動の段階的な地域移行へ

の検討について辰野中学校スポーツ活動あり方検討委員会を中心に辰野町でも検討してまいりたいと考えております。以上です。

【田中こども係長】

続きまして協議事項、(2)の保育園関係についてご説明申し上げます。

保育園関係につきましては、平出保育園の再整備と保育園の事業についてをご説明申し上げます。まず、平出保育園再整備についての進捗状況です。資料 No. 2 をお願いします。町では令和3年4月に辰野町保育園個別施設計画を策定しました。

この計画の中で平出保育園は、東小学校との複合化、または東部保育園との統合が有力とされ、検討しております。令和3年度の取り組みとしましては、資料に記載した通りでございます。コロナ禍で思うような取り組みはできませんでしたが、貴重な意見をたくさんいただくことができました。またコロナで延期しておりました竜東地区対象の説明会を、先日21日の土曜日に開催し、多くの意見をいただいております。

地元に残してほしいという意見が多数でありましたが、東小学校と複合化した場合、東部保育園と統合した場合、それぞれのメリットデメリットを理解していただくことができましたと思います。昨年の説明会やアンケートで出された保護者、保育士、東小学校の教職員の先生の意見については、一部ではございますが、資料の方に掲載しておりますので、ご覧いただければと思います。

続いて2ページ目をお願いします。平出保育園の再整備を進めていくうえでの課題や問題点それに対する解決方法を掲載しております。東小学校を複合化する場合も東部保育園へ統合する場合も、課題は山積しております。解決できないような問題も出てきております。今後は、これらと町民の皆様のご意見から方向性を決定していく予定でございます。

続きまして資料の方は3ページ目になりますが、保育園関係の事業についてご説明申し上げます。令和4年度の取り組みとしまして、主なものを掲載いたしました。1番目として保育園全園へスチームコンベクションを導入します。1台で複数の調理方法で栄養分を保ったままできる調理器具となっております。献立の幅が広がるとともに、調理員の負担軽減を図り、園児へ毎日美味しい給食をお届けします。

2番目としまして、木育教育推進事業ですが町の面積の80%以上が森林という辰野町で木に触れる機会が少なくなっているという現状から、木育教育を推進してまいります。今年度の入園式に辰野町産の栗の木で制作したお箸をプレゼントさせていただきます。

た。今年度、親子で木のおもちゃなど制作を行い、木に触れる機会を増やしてまいります。3番目としまして、英語あそびです。今年度保育園の方に英語あそびにアメリカ人の先生をお迎えしております。小学校での授業に繋がるよう継続してまいります。

4番目は運動あそびです。昨年はリズムジャンプや出張アラパなどを利用し、子供たちの体力の向上、体を動かすことの楽しさを伝えてまいりました。今年度も子供の年齢にあった体の動かし方を基本に、運動の苦手な子供にもできるように、保育士による運動あそびの時間を設けてまいります。5番目は新規事業ですが、園児オムツ回収事業です。現在、保育園で使用したオムツは自宅で持ち帰り処分をしていただいておりますが感染症拡大防止の観点から保育園での処分を行う事業を計画しております。コロナの地方創生臨時交付金を利用し、6月議会に上程したいと考えております。

議員の皆さんの協力を得て、今年の9月ごろ開始を予定しているところでございます。令和4年度の事業については以上となります。

続いて2番の次年度以降の取り組みですが、継続して長寿命化改修事業を行ってまいります。町内の保育園は築年数がかなり経過しており、様々な不都合が生じております。毎年修繕を行っておりますが、今後の計画的な改修を検討してまいります。保育園関係については以上です。

【福島生涯学習課長】

続きまして生涯学習関係の事業について説明いたします。資料番号が3番になります。まず組織の関係ですけれども令和3年度まで生涯学習課の体育振興係ということで名称しておりましたが令和4年度から生涯学習課のスポーツ振興係ということで変更をいたしております。併せてこれまで辰野町体育協会ということで活動をしていただいておりますけれども、先般の総会によって辰野町スポーツ協会と名称が変更になっております。

今年度の生涯学習課の事業ですけれども、ハード面では大きな事業がありませんのでソフトの面の説明ということで説明したいと思います。資料番号の7番ですけれども、7月2日から9月19日まで辰野美術館で黒川みつひろ恐竜絵本原画展が開催されます。8番ですが、6月19日に予定しておりました第69回南信柔道大会ですけれども、先般の実行委員会を開いた結果、コロナの状況が落ち着かないということで、中止ということになりました。16番になります。10月9日ですが、毎年いきいきフェスティバルとして開催していたイベントですけれども今年度を開催できるということで検討しておりますが、

ほたるの里スポーツチャレンジフェスティバルということで名称変更して、スポーツを中心としたユニットに変えるということで現在検討しております。

翌週の10月15日に予定しております町内一周駅伝ですけども、これにつきましても、今年度から辰野町駅伝大会仮称ですけども、荒神山を中心としたコースを周回するというような方法に変更するということが現在検討しております。10月15日から11月27日にかけては辰野美術館で民間の団体との共催の企画展ということで、現在検討しておる最中です。秋には21番ですけども辰野図書館が開館100周年、移転新築40周年ということになりますので、記念事業ということで、図書館の方で内容を現在検討している最中です。11月16日には人権啓発研修会ということで、現在町で検討を進めております、いわゆるパートナー制度についての理解を深めていただくということで、研修を予定しているところです。なお今年度3年目になりますけれどもしだれ栗の再生事業ということで、しだれ栗国の天然記念物のしだれ栗自生地についての再生事業行う予定となっております。その他昨年度整備が整いました町民会館のWi-Fi環境につきましても、公民館や町の教育委員会の事業等で活用するということが、一般の方にもそのような必要が生じたときには使っていただくというような環境を整えてきましたので、4月1日から順次対応することで行っております。以上です。

【萩原委員】

ICTの関係なんですけれども質問ではなく意見というか、感想といいますか、我が子も小学校中学校でお世話になっているんですが、普段の授業でも、学校訪問等でICTの機器を利用されている姿はよく見るんですけれども、コロナ禍で体調不良になって学校を休んだことが家でもあったんですけども、その当日に先生の方からZoomで授業に参加していいよということでご配慮いただいて、3日か4日間ぐらい検査の結果が出るまで家にいたんですけども、兄弟全員がタブレット貸していただいて、Zoomで授業の方に参加させていただけました。親としても大変ありがたかったですし子供たち自身が、あのクラスの友達と繋がれてとても嬉しかったってことを言っていましたので、今後コロナのことだけではないんですけれども、うまく活用して、子供たちが良い学びができるようにしていただけたらいいなと思っています。あとまたコロナの影響で参観日が中止になることが多かったんですけども、Zoomで参観日ということで、普段の授業の風景を定点カメラでしょうかそれで親が自宅でZoomで普段の様子を拝見できるという機会がありました。参観日で子供たちからちょっと普段と違って緊張

しているような様子で見るとはまた違って、子供たちは普段の様子っていう感じがしたので、それもとてもよかったです。

【垣内委員】

私もとてもありがたいお話だなんていうのがありまして、学校給食費の補助事業というのがあったんですけども、本当にこのところは尋常じゃない食品の値上りで、こないだから多分また上がってるんで結構油とか小麦粉とか、結構尋常じゃなく上がっているところがあって、いろいろ大変だなんていうところがあったんですけどもその点に関して保護者の負担は今まで通りで町の方で支えていただけるっていうことで、とても保護者とする給食って本当にありがたい媒体なので、協力して下さるってのはとてもありがたいなと思って拝見しました。ありがとうございます。

【根橋委員】

教育の環境の整備の状況ということで、先ほどタブレットの話があったんですけども、全部子供にタブレットが支給されています。コロナ禍で、学級閉鎖、学校閉鎖があったというふうに聞いてます。その中において、やはり整理されたタブレットが多分十分活用されたんじゃないかと思ってます。これからどんな状況が発生して学校が休みになるか、学校が閉鎖になるかわかんないんですけども、こういった設備を十分充実させていただいて、休んだ場合、特に十分活用できるように今後も考えてもらいたいと思うところでございます。

【関委員】

保育園関係のことになりますけれども先日土曜日、竜東地区の皆さんを対象にした説明会が開催されました。20名ほどの方にお集まりをいただいて、説明をさせていただいたわけでありましてけれども、様々なご意見も頂戴する中で、やはり地域に保育園というものは非常に重要なことだと思っております。その中で、子供を保育する環境を整えるそれも一つ、地域の保育園、また設置の環境、その二つについては、もしかしたら相反するところがあるのかもしれないけれども、様々なご意見をいただきながら、十分検討していただきたいなと思っております。また過去とはまた気象条件等々も変わっております、今まで良かった平出保育園の設置も集中豪雨ですとかゲリラ豪雨ですとかそういったもので非常に過去とは変わってきている。また道路も有賀峠が整備されまし

て交通量も格段に増えてるということもあるかというふうに感じておりますので、そのような観点から園児の安全安心を守るという意味でも、皆様方の貴重なご意見、また教育委員会と町と綿密に意見交換をする中で、先に進めていきたいなというふうに感じました。また学校施設の方ですけれども、給食室とプールという非常に大変な、変な言い方をしますとお金のかかるという二つの課題があります。これは少子化に伴って学校の再編とも絡む大きな問題かなというふうに個人的に感じております。また、生徒の安全安心を守るような、そんなような考えで知恵を出し合っていたらベストかなというふうに感じております。

【武居町長】

どうもありがとうございました。依然としてコロナ禍での教育関係、どうやって守るかという部分が上がっております。少なくともですねいろんなものを活用して子供たちの学びを絶対に守っていこうという姿勢でおりますけれど、やはりお子様1人1人がですね、どんな気持ちで学習しているか、やはりここで私達が寄り添えるかが、課題かなと思っております。それに向けては、当町の皆様、また学校関係の皆様からいろんなご意見をいただきながら、取り組んでいきたいと思っておりますので、また今後ですね、細かいところまでご意見、いただければと思います。

【宮澤教育長】

コロナ禍も3年目なんですけど私、最近思うことがありまして、もしコロナ禍で辰野町の場合は先ほど説明されましたけど、タブレットの関係 ICT 関係が一気に整ったり、トイレ洋式化等が進んでいき、コロナを迎えたような形になったわけですけど、もしこれらがね、整備されてなかったら今回のコロナ禍で、学級閉鎖とか学校を閉じた時に、どんな状態になったんだろう。例えばオクレンジャーが数年前に全て導入をしたんですけど、もしオクレンジャーが今でもなにも整備されていなかったら、どういう状況が起こったんだろう、家庭との連絡、家庭から学校への連絡、これらどうだったのかなと思っておりますし、タブレットがなかったら子供の学び、家庭と学校をどう繋げていたんだろう、それからトイレの洋式化が一気に進んだと同時にあの手洗いが自動水洗になったわけですけど、あの自動水洗というのが今回の先ほど言った、感染拡大、いわゆるクラスターが一切出なかったっていうのは非常に大きいのではないかと私も勝手に思ってるんですね。ですから、まさにきちっとここで整備ができていたということは大変あり

がたかったなと思っております。これからまだまだ想定外のこと何が起こるかわからないんですけれど、本当にこの教育委員会としても子供の学び、それから育ちっていうのは大事にしていかなければいけないなと思います。

先ほどの五つの保障という話が出たんですけどその五つの保障ってやっぱり大事にしていかなければいけないだろうと思っています。

【加藤総務課長】

今 ICT の関係、タブレットの関係がかなり話題に出ていたかと思います。今コロナ禍でといった部分が一番今後導入したメリットを感じられてる部分であるんだろうなと思いますけれども、コロナが収束をしたとしても、ネットですとか ICT を活用しますと、子供たちの交流ですとかシェアの機会が格段に広がるのは間違いありません。一方で、それをした状況においての懸念があるんだろうなと思います。こうしたものをうまく活用しながら、先ほど教育長の方で、お話がありましたけれども、これからは想定外なことが起こるかわからない時代に確実に入ってまいります。そういった部分の中でも、こういったものを活用しながら、広く情報を集めてそれをそれぞれが考え、生かしていく力っていうのは必要なんだろうなと思っておりますので、そういった部分で、こういった環境整備に引き続き町としても力を入れてまいりたいと思います。

それでは4番目に移らせていただきます。川島小学校の今後についてであります。こちらについては、現在、川島地区に児童をお持ちの保護者の方、地区内の学校に通学されてる方と地区外の学校に通学されてる方も含めてでございますけれども、簡単にまずは不安を解消していただくように、丁寧にやりとりをさせていただいているところであります。この状況等について、教育委員会から報告ご説明をお願いしたいと思っております。

【宮澤教育長】

資料 No. 4 になりますけれども、あり方検討委員会の提言は、平成 29 年 9 月 26 日に出されている。それを受けて、平成 30 年 2 月 21 日に教育委員会の見解というのを出させていただきました。さらに先ほども触れましたが今年の 8 月 4 日臨時の教育委員会において、町長の存続が断念をすると他校との統合の対象として検討すべきと。これを受けこの日まで来たわけです。その間、教育委員会では、これを受けて協議をしてまいりました。結論としましては川島小学校の今後については、他校との統合を進めていく

必要があると当時の30年の見解それを変えないということで確認をさせていただきました。川島小学校を統合の対象として準備を進めていく必要があると。

そうなりますと、今お話がありましたように現在通っている児童等に様々な影響を与えています。そこで資料 No. 4の方をご覧くださいながらというふうに思います。

川島小学校に在籍している児童に対しての対応ということですが、最大限の配慮を行っていく。①子供たち教育環境が急激に変わることを避けるために、3年ほどの統合猶予を図り、この間川島小学校にて通常の教育活動を推進をしていくこと、この期間中に、もちろん心の安定を最大限に図る配慮をしながら小集団と関わる、あるいは大きな集団と関わるというような活動を取り入れていくというレベルもその際には児童の状況には配慮していくということになります。現在でも行っておりますけれども、川島小学校と他の町内の小学校との交流については、コロナ関係になりますとオンラインによる交流活動というのを推進をしていくということになりますし、それが落ち着けば、お互いが学校訪問等を伴う交流活動もできてくるんだろうなと思っております。場合によっては、学年学級での行事等の共同実施ということも可能であろうと思います。保護者と、それから今度は川島地区との協議を進めていき、児童の統合後の就学先等の配慮事項等について確認を行ったり、川島区内の子供の学びについて合意形成を図っていくということになります。具体的な統合までの配慮事項ということですが、二つに分けさせていただきました。町内在住者への配慮事項としてこれは特認校制度活用の児童も同様ですが、学校が存続している限り、統合がされるその日までということになりますけれども、現在の川島小学校での学びを保障していく。地理的状况を見れば、統合先の小学校は辰野西小学校を基本としますけれども、統合先の小学校ではなく、町内の他の小学校を希望する場合は、通学手段を含めて、当該児童が小学校を卒業するまでの間、最大限保障していくと。辰野西小学校の通学区というのが現在の通学区に川島区が加わり、広がるということになります。通学の区間はスクールバス等の確保ということになります。小学校を卒業するまでは保護者の経済的負担は求めない。統合後、町外の小学校を希望した場合には、当該家庭で対応していただく。二つ目は、町外から川島小学校に来て学んでいる子供たちが、現在も居るわけですがこの児童への配慮事項です。学校が存続している限り、現在の川島小学校での学びを継続して保障していく。統合により、町内の他の小学校への就学を希望した場合、統合先の小学校がこれ含みますけれども、当該児童が小学校を卒業するまでの間、できる保障を行っていきますけれども、その際は前提として、町内に住所を移していただくこと。統合先の小学校が辰野西小学校で

はなく、他の小学校を希望した場合も、住所地から小学校までの通学手段を含めて保障をしていく。町内に住所を移さずに、町外に住所を置いたまま、町内の小学校への就学を希望する場合、現在と同じということになりますけれど、これは保護者の責任において通学をさせるものとする。ただし小学校卒業の段階で、町内に住所を移して辰野中学校に入学するか、町外の中学校に入学するかを判断していただく。町外の小学校を希望する場合は、当該家庭で対応していただく。

2番、統合決定後に川島小学校への入学を希望する児童が今後出た場合ということになります。つまり先ほど3年ほど猶予という話をさせていただきましたけれど、この間に川島小学校へ入学、就学させたいという児童が出た場合ということですが、統合されるまでは川島小学校の入学を許可するが統合した時点で、基本的には統合小学校への就学となる。統合小学校以外の就学を希望した場合には、当該家庭の責任で通学していただく。

次に統合の就学についての配慮事項ですけれども、統合ってということで、スクールバスによる通学を基本とする。通学に関わるバス代等の保護者負担は求めない。川島小学校在籍児童以外で川島区にいながら、現在辰野西小学校に通っている児童に対しても同様の措置つまりスクールバスで通学するということになります。バスの発着場所とか乗降者のバス停等については地元との協議のうえで設定をしてまいります。川島区に住所を置いたまま辰野西小学校に通学している児童に対しては、通学の選択肢拡大のために設定した通学上の回数券につきましては、この後説明があらうかと思いますが、統合時をもって終了とするが地元あるいは保護者との協議によって町バスへの乗車も考慮して回数券の利用を希望する場合は存続させていく。

3番、町内各小学校の通学区の指定は引き続き行うが、事情により、現小学校から他の小学校就学の変更を希望する場合は教育委員会として弾力的に対応していく、現在でも状況によっては弾力的に対応させていただいております。そんな町内小学校に学校生活や集団での学びに疲れたとき、あるいは一時的に避難をして通常のカリキュラムから離れた学び、あるいは生活ができる場所を開設、つまりエネルギーを充填するとかそのようなことになりますけれど、そういう場所を開設、これは町の間教室わたげとのすみ分けを行う。

以上ですが昨年の8月から本日まで教育委員会で検討した内容でございます。

【加藤総務課長】

この内容につきましては、5月の初めに行いました川島小学校に現在児童が通っている保護者の皆様全員出席ではございませんでしたが、懇談会においても教育委員の皆さんと合わせてお示しをさせていただいたところでもあります。では具体的な内容にも触れていただきましたけれども、ご意見またご質問等ありましたら、順次お願いをしたいと思います。

【根橋委員】

今教育長の方から、川島小学校の今後についてということで、対応を聞きました。昨年の4月ですが町長さんが、川島小学校の存続を断念ということの説明をされて、川島地区に対しまして、お考えをご説明いただきました。全地区を回っていただきまして本当に難しいんだなと感じております。その中において、小学校の保護者との意見交換とか、懇談会とか、そういったことが3回なされて、私は2回、その席に立ち合い出席をさせていただきました。教育長はじめ総務課長さんから丁寧な説明をされたというふうに私はお聞きしました。その中で、3回目の今後についての説明を保護者に語ったわけですが、冷静に保護者の方は聞いていたのかなというふうな感じを受けました。今後どうされるのかなというふうな、気持ちは思っているところでございます。

【萩原委員】

ずっと保護者の皆さんの気持ちを考えながら川島小学校の私も子供を育てているということもありまして、そういった立場で話を聞いて、先日の懇談会で参加しているお一人お一人から今後について説明の後ご意見をお伺いして、根橋さんもおっしゃっていましたが、私だったらそんなに冷静に話が聞けたらうかっていうぐらい、皆さんきちんと頭の中で言葉を選んでご意見を言ってくださっていたのが大変印象的でした。それを伺って、まず、だからこそしっかりこの先3年ほど猶予を踏むということで、教育委員会からお示するという事になっているんですけども、お子さんたちがどのタイミングで学校が変わるんだろうか。自分の子供が同じ立場であればそこが大変が気になってくる場所かと思っておりますので、そういったこともきちんとしたお示しができることが不安の解消にも繋がるのかなというふうに私は感じています。

【垣内委員】

この資料の中で一番最後にあるんですけども、川島小学校に限らずですけども、町内の子供たち全員関わってくるところもあるんですけど、本当にその学校で本当に今の子供たちは些細なことで揉めたりちょっと心が傷ついたりってことが多々あったりして、そんなときに、やっぱりいろんな居場所がその子にとっての居場所が、あるっていう選択肢をこれからまた皆さんと一緒に考えていけるっていうのが、とてもいいなと思いました。

【関委員】

今いろいろなことを振り返ってみる説明が教育長さんの方からありました。30年の2月21日に、町の教育委員会見解というものをお示ししてから今日まで変わらず、教育委員会としては、そのスタンスを取ってきて表面上あまり出てこなかったわけでありまして、教育長から説明をしていただいたような様々な条件面ですとか、ご家庭に寄り添う方法ですとか、いろんなことを考えてきたというのが教育委員会の立ち位置でございます。今日ここで4年ほど経過をしたわけでありまして、こういった方向を総合教育会議の中で話ができるということで、私個人的には非常に安心というか、一つになるのかなというふうに個人的には感じております。私ども教育委員会の中では、3年間ほどの時間の中で先ほど教育長が今後についてという説明の中であった、条件ですとか方法ですとか、寄り添うといった形の中でのものが3年間の中でできていくんじゃないかなというような期間だと思っております。ただいずれにしても会議の中で決まってくることを議会の中で決まってくるのが最終かなというふうに皆さん思っていると思いますので、この辺のところは少し一番私が町民の皆さんからお聞きする声の中で一番はどんな形になるのか、もう一つはいつ頃なのかっていうことをやはり心配されている声も聞こえてまいります。それには在籍されている家庭の保護者の皆様もそうでありますし、もしかしたら川島小学校の入学を検討されている方ですとかご兄弟関係がある家庭ですとか様々な立場があるのかなというふうに推察をしております。基本的にはちょっとここでは難しいかもしれませんが、もし町長さん総務課長さんの方で議会の方に対応するような、時期的なものがもしお示しできることがあればお聞きをしたいなと思っております。

【加藤総務課長】

今それぞれの委員の皆様の方から今後どのタイミングで、時期ですとかそういったものを確定していくのかとか、そういったご質問がございました。これについて手続きも含めまして、私の方から多少個人的な思いも含めて対応したいと思います。

まず、学校の設置につきましては、皆様とも以前に共有しておりますが、議会の議決事項になります。ですので、町から議案を提出をしまして、そこで議決をいただいて最終決定といった運びになります。この議案提出の時期でございますが現在の様々な状況から、基本的には可能ならば当年度令和4年度内に議会へ上程をさせていただきたいというふうに考えております。その理由としまして3点申し上げます。1点目は、先ほど詳しく説明いただきましたけれども、統合前、それからその後の児童保護者の方への配慮など、より具体的な内容が固まってまいりました。それが1点目であります。それから2点目であります。現在、川島地区の中で、こういった動きを見据えた上で、地域住民の方が主体的に公立の学校では対応が難しい子供の居場所作りや、また新たな学び、育ちの場を作る取り組みを始めていただいております。これは大変ありがたいことだと思っております。今後、こうした事業等、こういった皆さんと連携をしまして、川島地区のお子さんはもちろんですが、町内の子供たちの学び育ちの環境の中、充実に繋がってまいるものだと思います。先ほど、垣内委員からもお話がありました様々なお考え、いろいろな環境を求められているお子様がこれから増えてくると思っておりますので、そういった意味で、こういった取り組みが必要だと思っておりますので、そのためには、早期に方向づけをしていくことが必要だと考えていることとございます。最後3点目ですが、この大変難しい問題に対して、それぞれの立場で真剣に取り組んでいただいて、様々なご提案やら、またご協議をこれまでしていただきました現在の辰野町議会議員の皆様の任期中に改めてご審議をいただいて、最終的な決定をしていただくべき内容だと考えているといったことの3点であります。そういった視点に思っておりますので、基本的には同年度の内の上程を目指してまいりたいと思っております。教育委員の皆様におかれましては、引き続き川島地区の児童、保護者の皆さんの不安解消、また状況把握にご尽力をお願いをしたいと考えております。私の方からちょっと一方的にお伝えをいたしました。町長何かございますか。

【武居町長】

私の方から一言言わせていただきたいと思います。

先ほどご質問に関しては、ただいま課長が申し上げた通りでございます。

私も率先してまいりたいと思います。今も各委員の皆さんからももちろん、あるいは過去の意見も私が表明したところの話も出ました。実は私も表明したから、気持ちの整理がついたという問題ではなく、毎日教育をどうしていったらいいか考え、学んでもおられます。ただ一つ思うのですが、個人的な話ですが、ぱっと思ったことがあります、私の50年以上前、私の友達と今はちょっとコロナで集まりませんが、あの同級会に顔を出していく中で、そういった会に出ても、やはり私の頭の中は常に川島小学校の問題がずっとありました。ただ昔の旧友とですね、話をしている中で思ったことがあります。集まってるメンバーですね、あのときはこうだった。それは当時のいろんな悩みや苦しみを持っていたんですよね。自分も話をしながら、考えたら自分の親が解決してくれたわけでもないし、先生が解決してくれたわけでもない。それ全部じゃないんですけど、今自分の目の前にいる友達がですね、自分の悩みを打ち明けて相談に乗ってくれたからなんです。僕はそういった4年、本当に改めてこの皆さん、みんなと一緒に暮らさせて過ごせてよかったなということを何かぱっと思ったことがあります。そんなこともあってですね。本当に教育とか専門的にはちょっとまだわかりませんが、本当に先生や親や地域の皆さんから教えてもらうような一方で、育むことをみんなと自然に育まれて育つてくというのも教育の1つだなと感じた思いです。したがって、現在急激に進んでおりますけど川島小学校だけの問題ではなくて他の学校についても緊迫した状況になってくるかなと思いますけど、やはり今私ができることは、そういった同年代の横の繋がりをやっぱり厚くしていくことをやはり考えていかなければいけないかなと思います。ただ、その一方で、異学年の教育もちゃんと叫ばれております。本当にどっちかに偏るって言うのではなくてそれぞれやはりものすごく意図するところはありますけれど全てを否定するんじゃないくてやはりその教育方法、奉仕の意味を掴んだうえで辰野町の未来を考えていかなければいけないなという思いでございました。

5. まとめ

【武居町長】

はい、ただ今のご協議いただきましてありがとうございます。また、傍聴の皆様におかれましてはご清聴ありがとうございました。

町内小中学校の教育環境や主な施策は先ほどお願いしましたが再整備を初めとする保育園関係の現状、生涯学習関係の文化スポーツ事業など、様々な教育政策の現状と課題について、十分な協議ができたものと思います。川島小学校の方につきましては、具

体的な対応や保護者、児童への配慮事項など、本日ご説明いただきましたので、3年間ほどの猶予期間中で、児童保護者が安心して通学できるよう、各家庭に寄り添った対応を引き続きよろしく願いいたします。辰野町内の小中学校のパソコン教室などの整備がされたのが今から20年前のことですが、今では、児童1人1人にタブレット端末が配布され、小学校ではプログラミング教育学習が必修化されて、近代的な時代の変化を感じ今後、ロボットやAI最新技術を活用して仮想空間と現実社会の双方で人と物が簡単に繋がるようになり、効率的に問題の解決が図られる社会に変わっていくとされていますが、そのような時代の変化に伴って、子供たちが人々に求められる力も変わっていくこともあります。

一方でどんなに時代が変わっても変わることもない大切なものもあります。生まれ育った故郷、文化、伝統を大切に思う心。同じ地域に暮らす住民同士の繋がり。いろんな学び育った学校や保育園への愛着など、どれも大事にしていかなければならないもの。そうしたことを大切にしながら、多様性、柔軟性が求められる時代にも的確に対応できるよう、教育委員会の皆様と連携して教育行政を進めてまいりたいと思います。引き続き協力をお願いいたします。

本日は本当にありがとうございました。

【宮澤教育長】

本日は武居町長それから教育委員の皆さん、大変ありがとうございました。また、多くの傍聴の皆様もありがとうございました。

今月末から来月にかけて町内全ての小学校で運動会が予定されております。毎日練習に熱が入っております。先週、よくある会議のためにある小学校に行き行って授業参観を行いました。授業参観中、その窓から校庭で行っている2年生の授業を見ることができました。ちょうど運動会綱引きの練習でございました。この綱を学年全員が二つにわかれて、担任の指示のもとで気合を入れて引き合っているそんな姿を見て、青空のもとで、多くの歓声が上がって子供たちが一生懸命取り組んでる姿は目に浮かんでまいりました。きっと良い運動会になるんだろうな、そんな予感がいたします。

おそらく今日も町内それぞれの学校においては、児童生徒の笑顔と元気な歓声が校舎内外に響き渡っていることと思いますし、今日1日、児童生徒のたくさんの友達と関わり、互いの息遣いを感じながら生活をし、先生の指導のもとでたくましくなってくれるものと思っております。笑顔あふれる、明日も登校したくなる学校、明日も友達と学び

たくなる学校作り、それが私達大人の責任であろうと思います。今日の総合教育会議において、改めて町長と教育委員会等が町の教育課題について協議をし、確認することが出来ましたことは大変ありがたく思っております。川島小学校の今後につきましても、町長と教育委員会とでともに方向を一致させることができました。人口減少、少子化でますます厳しくなっていく教育現場ではありますけれど、これからも、町長と共に協議し辰野町のよりよい教育行政の方法を探ってまいりたいと考えております。

今後もどうぞよろしくお願ひします。

本日はありがとうございました。

【加藤総務課長】

本日ご説明をいただいた中で、部活動のあり方ですとか保育園の運動遊び、また英語の関係の取り組み、また生涯学習関連のスポーツの新たな取り組みご説明をいただきました。先だって新聞にも載っておりましたけれども、今年度より辰野高校スポーツ探究コースができました。考え方は、これからのスポーツを強くするというのではなくて、支える人材を支える何かを目指していきたいといったことでもあります。まさしくこういった部分の中でも連携ができるんだらうなと思います。

また英語関係では豊南短大、つくば開成学園などありますので、今後、幼保小中高大と連携しそういった部分についても、ますます伸びていくことを期待をしたいと思います。

6. 閉会

【加藤総務課長】

では、だいぶ時間超過してしまいましたけれども、令和4年度第1回辰野町総合教育会議を閉じさせていただきます。

ありがとうございました。